

業連だより

4月12日、業務連絡会議が開催された。開会にあたり、富澤理事長が、「3月10日に開催された小堀邦夫靖國神社宮司の就任披露の会」に参加された時の様子を紹介された。崇敬会の阿南大将のご次男と遺族会顧問の伊吹文明氏の挨拶に始まり、国会議員も参列される中、盛大に行われた。ここでも憲法改正論議が交わされたように、理事長が陸幕長時代、時の村山総理が自衛隊中央観閲式で「自衛隊は憲法違反ではない」と述べられ、その後の休息時に「今日の話を一番喜んでいるのは社会党の仲間かもしれない」と呟かれたエピソードを紹介された。偕行社内には、それぞれ異なる意見をお持ちの方もおられると思うが、積極的に議論に参加してほしいと締めくくられた。

白石副理事長から「将来検討委員会の検討状況」について「現在、会員区分について議論を進めており、会員A Bを統一する方向で議論が進んでおり、まとも次第第一案を提示したい」と報告があった。

慰霊援護委員長から、4月1日に執行された「平成30年度軍馬・軍犬・軍鳩慰霊祭」の成果について報告があった。(本文2頁参照)

火箱安全保障委員長から3月13日

東洋学園大学フェニックスホールで開催された「安全保障シンポジウム」の実施成果について報告があった。

「東アジアの危機と日本の対応―これからの防衛戦略を考える―」をテーマに行われ、基調講演者は、細谷雄一（慶應義塾大学教授であった。マスコミも朝日新聞、毎日新聞、共同通信など5社が参加した。(本文4頁参照)

若木事務局局長から「平成30年観桜会」の成果について報告があった。観桜会は、4月4日靖国会会館の田安・玉垣の間で開催され、招待者を含め102名の参加であった。(本文11頁参照)

廣瀬総務委員長から、総務委員会審議結果の報告があった。内容は、「○○に歌い継ぐ雄叫(仮題)」の刊行を今後偕行社の事業として検討していきたいと提案があり、理事長から自衛隊の部隊歌も入れて欲しいとの要望が出された。今後、細部検討を進めていくこととなった。

小淵入会促進特別委員長から、3月12・13日に開催された「入会促進協力特別委員研修」についての結果報告があった。

最後に、総会時の講演者の候補についての意見交換が行われ、陸幕長を第一候補として調整することとなった。